

## 関東地方戦略会議 会議録

日時：平成 28 年 2 月 25 日（木）11：00～12：00

場所：公益社団法人全国都市会館 3 階 第一大会議室

議事：

### 1. 開会

### 2. 挨拶

- ・国土交通省 大臣官房 技術総括審議官
- ・国土交通省 関東地方整備局長

### 3. 議事

- (1) 地方ブロックにおける社会資本整備重点計画の位置付け
- (2) 関東ブロックの社会資本整備重点計画（原案）について
- (3) 意見交換

#### ■関東商工会議所連合会

- ・経済界としても極めて重要な計画と考えている。
- ・1 点目は災害対策について。首都直下地震対策、鬼怒川の豪雨災害もあったが、都内も含めて荒川右岸堤防が決壊した場合にも非常な甚大な被害が想定されている。社重においても地震対策・水害対策を推進して頂きたいとの声が上がっている。
- ・2 点目は人口減少社会について。社会資本のストック効果の最大化、コンパクト+ネットワークの強化、国際競争力の観点から港湾や首都圏空港の強化について注目している。
- ・パブコメ実施の際には、体系的に意見を整理し提出させて頂く。

#### ■東京管区気象台長

- ・重点目標 1 の災害リスクの低減について首都直下型地震、津波、洪水に対する対策は明確に記載されているが、高潮対策が見えない。東京については大正 6 年の台風で大規模な高潮災害が発生したが、それ以降発生していない。東京湾の高潮対策が懸念されるため、プロジェクト 1 と 2 の連携を取りながら盛り込めるといいのではないか。
- ・温暖化対策は緩和策が多い印象である。昨年 11 月に政府として適応策にも取り組んで行く方向も示されているので、インフラ面でも対応していく必要がある。

#### ■事務局

- ・ストック効果を最大化するためには、利用者目線で様々な意見をいただきながら整備主体が頑張っていかなければならないと思っている。
- ・高潮対策、適応策については記述の充実について検討したい。

#### ■埼玉県

- ・県内の圏央道が全線開通し、周辺の渋滞状況や企業立地といった土地利用が変化し

てきている。

企業ヒアリングの結果、IC から 20 分程度の距離でないと立地が難しいとの声もあったため、IC のアクセス強化を重点として道路整備を進めて行く。

- ・ IC アクセス時間の見える化と開通時期の見える化を進めたいと思っている。
- ・ 圏央道の東北道以東の一日も早い開通をお願いしたい。
- ・ また、圏央道は関東ブロックの防災機能で大きな効果を発揮する。防災の観点から、4 車化についても全線開通とあわせて検討を進めて頂きたい。

#### ■群馬県

- ・ 既存ストックの有効活用として、県内に SIC の大型化と一度停止したものの再開を進めていく。既存ストックを上手く活用する方法を検討している。
- ・ ネットワーク化はもちろん、対流の拠点となるような整備が必要と考えている。
- ・ 人材確保について、若者の人口も減少傾向にあり、小さいパイの取り合いも限界があるので、ベテラン技術者の活用も必要ではないかと考えている。

#### ■栃木県

- ・ 昨年の豪雨災害ではインフラのストック効果を痛感した。内水対策は今後も必要だと思っている。
- ・ 現在は大雨が降ると通行規制を掛け止めなければならない道路もあり、災害発生時にも通行でき、機能するインフラ整備が県内には必要だと思っている。
- ・ 東京との時間が重視される中で、高速道路は重要であり、それらを活用していくためには、東北道は古い規格なので、SIC の整備や既存 IC へのアクセス道路の充実が必要であり、目を向けて頂きたい。

#### ■事務局

- ・ インフラのストック効果発現のためには、ここに記載された通りに整備を実現していくことが重要だと認識している。しっかりと取り組んでいきたい。
- ・ SIC の有効性が示され、その点については本編にも記載されている。また、アクセス道路の整備も進めることで、防災面も含めた既存ストックの有効活用を図っていきたい。
- ・ ベテラン技術者の活用について、記載を工夫していきたい。

#### ■茨城県

- ・ 茨城県の潜在能力がやっと見えてきている状況である。圏央道の全線開通および東関東水戸線が繋がることによって茨城の潜在能力が広域に広がると期待している。
- ・ 幹線道路の力を県内全域に広げるように、県の総合計画でも位置づけている。

#### ■事務局

- ・ 圏央道は完成時期明示を明示しているが、東関東自動車道水戸線については用地買収中で完成時期を未定としているが、未定のものについては関係機関や地元の

ご協力によって早期に公表できるように努力していきたい。

- ・各自治体の関連計画においてもこのような整備の見通しを踏まえて地域の計画を策定して頂ければと思っている。

(4) その他

■事務局

(今後のスケジュールについて)

4. 閉会

以上